

2018年11月日

会員各位

福島県トラック協会
福島環境整備機構

洗車設備油水分離槽などの放射性汚泥滞留・保管の最新状況に関する実態調査のお願い

日頃、当会の業務運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、かねてより自動車関連業界の懸案事項となっております洗車設備油水分離槽、排水溝などの放射能汚染汚泥処理につきましては、福島第一原発事故後、産廃業者が引取り拒否するなど、自ら保管するなど困っている方々がいると聞いております。

つきましては、その実態を把握して適切な処理をすることが求められているところであります。

当協会といたしましては、すでに洗車設備油水分離槽、排水溝などの放射能汚染汚泥処理実績のある株式会社福島環境整備機構の協力のもと実態調査を行うこととなりました。

株式会社福島環境整備機構は、自動車関連3団体「福島県自動車整備振興会・福島県自動車販売店協会・福島県軽自動車協会」の出資、支援のもと設立され、放射能汚染汚泥についての処理の相談窓口として、皆様の相談に乗り、ご支援を行っております。

つきましては、放射能汚染汚泥処理で困っている方々のご相談に乗り処理を進めるために、協会の方々の実態を把握したく、(別紙)の調査へのご協力をお願いいたします。

この、調査につきましては、国土交通省東北運輸局、福島運輸支局、環境省福島地方環境事務所にもお話をし、ご理解をいただいております。

今回は、実態をできるだけ詳しく把握して適切な処理をするための調査となります。

つきましては、調査回答率100%を目指しておりますのでよろしくお願いいたします。

<お願いの要約>

- ・国土交通省東北運輸局、福島運輸支局、環境省福島地方環境事務所のご理解も得ております。
- ・福島環境整備機構はすでに懸案の汚染汚泥の処理を進めております。
- ・処理に困っている皆様へのご支援が出来ます。

<別紙> 放射性汚泥滞留・保管の実態調査の意向に関する調査

・この調査は、産廃業者などで処理出来ずにいる、油水分離槽等の放射能汚染汚泥の適切な処理を前提としたものです。

なお、この調査表は、下記の株式会社福島環境整備機構宛に送付願います。

株式会社福島環境整備機構 行き E-mail furukawa@fksk.co.jp FAX:024-983-1691

※11月30日(金)までにE-mailまたはFAXで送付下さいますようお願い申し上げます。

事業者名 _____ 拠点名 _____

ご担当者名 _____ ご連絡先(電話番号) _____

(メールアドレス) _____

以下の質問について、該当する記号に○をつけて下さい。

前提質問：すでに福島環境整備機構に処理を依頼している。

ア 依頼している (以下の質問への記入は不要です)
イ 依頼していない (以下の質問にお答えください)

問1：現在、処分・処理出来ずに保管している放射能汚染汚泥等がありますか。(汲上出来ない油水分離槽も対象です。エアフィルターなども対象です。)

ア. ある イ. ない

<問1でアを選ばれた方のみ>



保管の状況とおおよその数量をご記入願います。

(1) 汚泥	
保管：ドラム缶	缶
ペール缶	缶
その他()	
油水分離槽内滞留	ある ない
(2) エアフィルターなどで処理できないものがあればご記入願います	
品目	概算の量

問2：保管汚泥などの適切な処理についての相談を希望しますか。(油水分離槽等の安全・安心確認のための放射能濃度測定相談も含む)

ア. 希望する イ. 希望しない

・希望する方については、福島環境整備機構が、ご連絡を差し上げて訪問いたします。

問3：そのほか困っていることやご要望があればご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。